

日本心血管理学療法学会「COVID-19 関連情報特別チーム」
海外の専門情報

No.82

調査者	井澤和夫、加藤倫卓、山本周平
情報ソースの刊行日	2021年7月3日
情報ソースの調査日	2021年7月4日
日本理学療法士学会 HP に公開された日	2021年7月27日
日本語タイトル	COVID-19 非常事態宣言中に介護老人保健施設で通所リハビリテーションを受ける外来患者の性別に関する身体的および心理的状态の変化
情報ソース	Izawa KP, et al., Changes in Physical and Psychological States with Respect to the Gender of Outpatients Receiving Rehabilitation at Geriatric Health Services Facilities during the COVID-19 State of Emergency. Diseases. 2021; 9 (3): 51.
情報のカテゴリー	生活期の心リハ・その他
発信地域	アジア(日本)
URL	https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/34287277/
要約	<ul style="list-style-type: none"> 本研究は、2020年4月から5月にCOVID-19パンデミックによる緊急事態宣言発出前(T1)と後(T2)における介護老人保健施設の通所リハビリテーション利用者の性別での身体的・心理的状态の縦断的变化に関するサブグループ解析である。 緊急事態宣言発令前後で、身体的状態として歩行速度(GS)、Timed Up & Go Test (TUG)、握力(HG)、そして最長発生持続時間 (MPT) が、また心理的状态として、アパシースコア、5レベル EuroQoL5 (EQ-5D-5L)が男女別に比較された。 男性では、身体的(GS、$p=0.463$; TUG、$p=0.600$; HG、$p=0.753$; および MPT、$p=0.249$)および心理的(アパシー尺度、$p=0.891$ および EQ-5D-5L、$p=0.249$)状態は T1 と T2 の間で変化はなかった。女性では、身体的(GS、$p=0.600$; TUG、$p=0.735$; HG、$p=1.000$; および MPT、$p=0.310$)および心理的(アパシー尺度、$p=0.588$ および EQ-5D-5L、$p=0.176$)状態も T1 と T2 の間で変化はなかった。 男女ともに、COVID-19 パンデミックによる緊急事態宣言の間、身体的および心理的状态を維持できる1つの活動として、通所リハビリテーションの継続が推奨される。